

TEAM EXPO 共創チャレンジ『関西・歴史文化首都フォーラム』プロジェクトの戦略的推進

発表者：福井昌平(イベント学会副会長)／宮本倫明(イベント学会理事)

関西は日本の歴史文化首都／歴史文化は先人の命の輝きの軌跡と遺産／ふりかえれば、未来／関西の魅力発信

[1]目的

関西には、国宝、重要文化財、世界文化遺産、無形文化遺産など、日本が世界に誇る歴史文化遺産が圧倒的に集積され保存・継承されている。又、研究機関や博物館機能や社会教育機関も多く集積し、文化庁も京都に移転され、まさに関西は「日本の歴史文化首都」と呼ぶに相応しい。

2025年に開催される大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、長寿社会や先端医療、持続可能な社会システムや未来のライフスタイルを追求するが、先人達の命の輝きの軌跡と遺産である「歴史文化」の価値を未来に繋げることも重要な役割と考える。加えて「歴史文化首都力」は、万博の名称である『大阪・関西万博』の『関西』を代表する重要なコンテンツであると同時に、万博のムーブメントを創り上げていく重要な舞台である。

イベント学会の初代会長である木村尚三郎東大名誉教授は、「歴史文化を学ぶことは、未来を考えることだ!!」と提言され「ふりかえれば、未来」という言葉を残された。この提言に基づいてイベント学会では、『関西・歴史文化首都』研究会を有志で継続的に開催して来たが、大阪・関西万博との関係構築の有効性を踏まえて、2021年にイベント学会員を中核とする『関西・歴史文化首都フォーラム』推進組織を構築し、博覧会協会が推進するTEAM EXPO2025の「共創パートナー」に登録し、関西2府4県での歴史文化首都力をテーマとするフォーラム事業を組成し「共創チャレンジ」プロジェクトとして実践することになった。

『関西』の有する「歴史文化首都力」とその魅力を深掘りすると同時に、教育と観光が融合した付加価値の高いイベント産業育成に、2府4県の産官学市民協働のムーブメントの構築に貢献すると同時に、次代を担う若者を積極的に巻き込んで、関西の持続可能な地域づくりと未来づくりにチャレンジする。

[2]方法

愛・地球博の理念継承団体である一般財団法人 地球産業文化研究所の資金助成を受け、歴史文化でのオピニオンリーダーである外部有識者4名を任命して『関西・歴史文化首都フォーラム』推進委員会(座長：福井昌平／事務局長：宮本倫明)を立ち上げた。同時に、イベント学会会員を主体とする2府4県(滋賀／京都／兵庫／奈良／和歌山／大阪)其々に地区実行委員会を組成し、各府県の知事や知事局は勿論の事、各地区のメディアや経済団体との連携を進めた。又、其々の「歴史文化首都力」を表すキーワードを設定し、2023年度は滋賀・京都・兵庫で、2024

年度は奈良・和歌山・大阪で各地区フォーラム・シンポジウムを開催し、各地区の「歴史文化首都力」を体現する魅力的な参加体験プログラム(学びと観光の融合)の構築を目指した。これらの3年間の活動実績を中間総括する場として、2025年開催の大阪・関西万博会場での出展参加を志向する。

[3]結果

2府4県のフォーラム・キーワードは、滋賀県は「水」、京都府は「創」、兵庫県「匠」、奈良県「源」、和歌山県「道」、大阪府「芸」と定め。其々の「歴史文化首都力」を追求するフォーラム・シンポジウムを各府県の知事や知事局と連携した組成が成功している。2023年度は以下の3府県のフォーラムが開催された

- ◆11月11日『マザーレイククルーズ 2023～琵琶湖で学び、ふれあい、つながる絆』をテーマに、三日月滋賀県知事の参加で実施。
- ◆11月27日『京都未来・カルティベート～まちづくり、ものづくり、ひとづくり』をテーマに、山下京都府副知事の参加で実施。
- ◆11月27日『伝統と伝承～紡がれた思いを、次世代に託すためのキーワード』をテーマに、齋藤兵庫県知事の参加で実施。

上記事業は、イベント学会のホームページや推進委員会独自のホームページ、各地区毎の告知活動やネットワーク集客が図られたが、特に多くの地元大学生の参加を実現した。又、博覧会協会が推進する『PLLトーク』プロジェクトに認定され、シンポジウムの動画がYouTubeで配信されると同時に、地元メディア(テレビと新聞)で取り上げられた。

2024年5月16日には奈良で、9月14日は和歌山で、年度内には最終会を大阪で、各地区フォーラムが開催される。

[4]考察

『関西・歴史文化首都フォーラム』の提唱と、2府4県での実践的な「地区フォーラム」推進を通じて、2府4県其々の「歴史文化首都力」こそが関西万博の重要なコンテンツであるという認識が、知事をはじめ各地の産官学市民の中に定着し始めて来ている。特に、次世代を担う学生達の参加と地元メディアの参加が、大きなエネルギーを生み出して来ている。

2024年度は、奈良・和歌山・大阪の「地区フォーラム」を成功させると同時に、2025年の万博会場での出展参加事業の事業化を進めたい。万博会場での出展参加については、博覧会協会が進める「テーマウイーク」での出展参加を勧められていることから、2府4県其々の『歴史文化首都力』を集結させて、関西が文字通り日本の「歴史文化首都」である事を世界に発信する重要な舞台構築として取り組みたい。